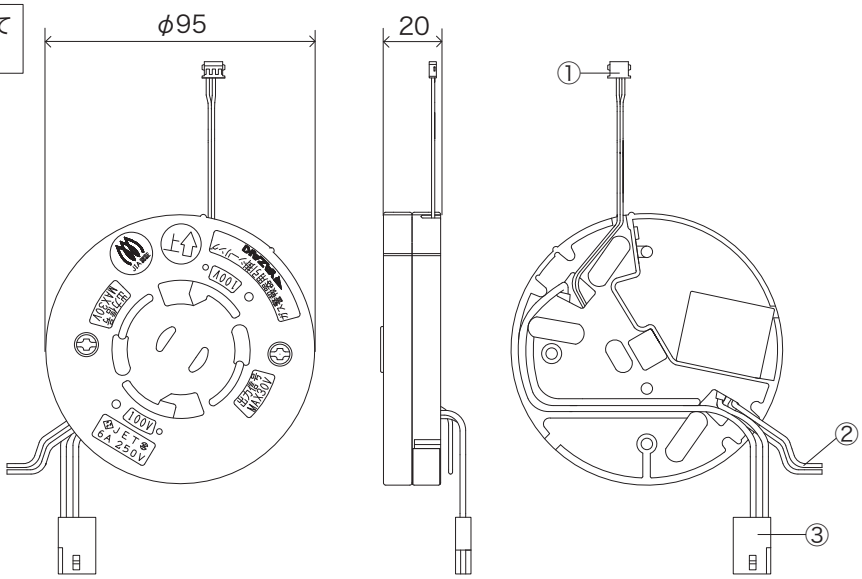
警報器アダプター（マイコンメータ接続用）

YS-T60 取付説明書

● 施工される方へ

●適合警報器　有電圧出力（DC 0–6–12(–18)V）および火災連動入出力付警報器

警報器取付ベースの電気工事は専門の電気工事士に依頼してください。一般の方が工事をすることはできません。



①火災連動信号入力コネクタ
②火災連動入出力信号線
③有電圧出力コネクタ

1 仕　様

入力信号	2段階または3段階有電圧2線式 火災連動信号
出力信号	フォトトランジスタオープンコレクタ 都市ガス・CO警報時ON（遅延） 火災警報時ON（即時）
出力信号遅延時間	45秒±15秒
寸法・質量	φ95㎜×20㎜　約130g

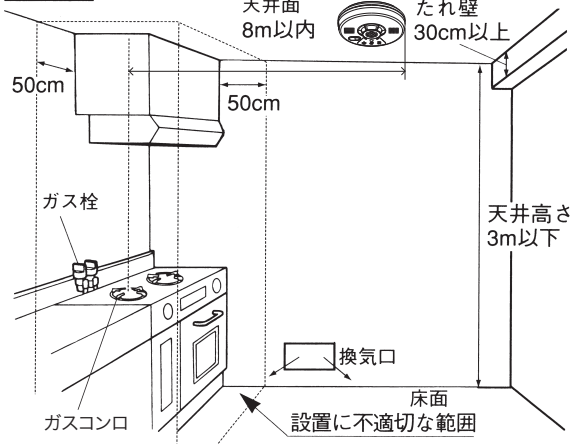
2 取付位置

警報器アダプターYS-T60は、警報器取付位置に設置します。

●都市ガス、COを検知しようとするガス機器を設置している場所と同一の室内に設置すること。
●都市ガスやCOが滞留しやすい位置で、電源ランプの確認しやすい位置、容易に点検できる場所へ取付けること。
●都市ガス、COを検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合は、ガス栓）から水平距離8m以内とすること。
●アルコールなどで警報することがあるので、レンジフード内やレンジフード本体には取付けないこと。
●換気口などの空気の吹き出し口から1.5m以内には取付けないこと。

※取付位置については、各警報器の取扱説明書をご確認ください。警報器の種類により取付位置が異なります。

取付例



床面積は概ね30㎡以下（部屋が正方形なら対角線は約7.7m以下）

3 取付け方法

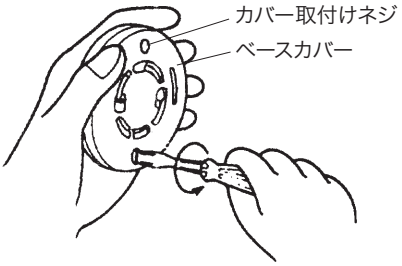
●取付ベースを取付ける時、警報器のランプが確認しやすい方向に取付けてください。

取付ベースの取付け寸法

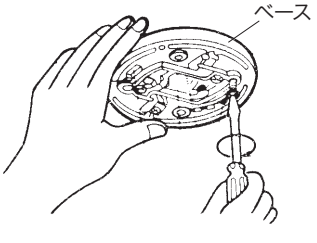
●ベースの取付け寸法はピッチ66.7㎜です。
●ボックスに取付ける場合は下記のボックスに適合します。
〔適合ボックス〕 ●JIS C8340　アウトレットボックス
●JIS C8340　コンクリートボックス
〔適合ボックスカバー〕 ●JIS C8340　丸孔カバー

取付ベースの取付け方法

①カバー取付けネジをゆるめてベースカバーをはずします。

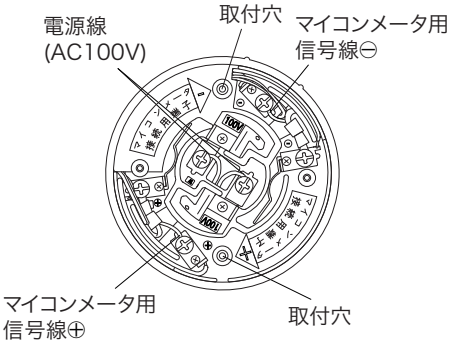


②ベースを天井の取付位置に取付けます。このとき電源線（AC100V）、マイコンメータ用信号線を各々指定の穴に通します。

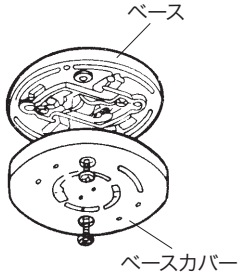


丸孔カバーに取付ける場合はM4のネジ（付属品）を、天井に直接取付ける場合は木ネジ（付属品）を使用して固定してください。

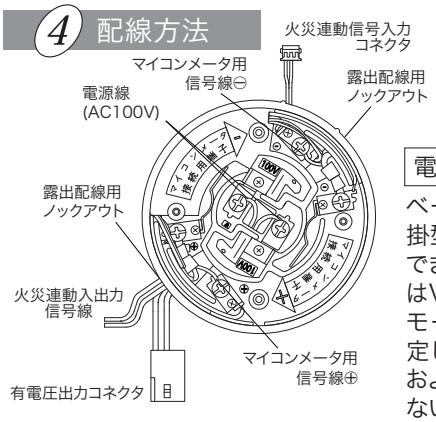
③電源線、マイコンメータ用信号線をベースの表示どおり接続します。



④ベースカバーをもとどおり取付けます。



4 配線方法



電源線

ベース固定となりますので壁掛型のようにコンセント接続はできません。露出配線の場合にはVVFケーブルなどを使用し、モールまたはステップルで固定してください。600V絶縁線およびビニールコードは使用しないでください。

マイコンメータ用信号線

マイコンメータ用信号線には⊕⊖の極性がありますので配線の際ご注意ください。金属管またはボックス内に電源線とマイコンメータ用信号線を同一配管する場合、マイコンメータ用信号線は600V絶縁電線で線径1.2㎜以上のものをご使用ください。また電源線とマイコンメータ用信号線が識別できるように色の区別をしてください。小勢力回路用電線を使用する場合のアウトレットボックスなど、混触防止のセパレータ付を使用してください。

警報器の取付け

<YS-K801C-N型の場合>

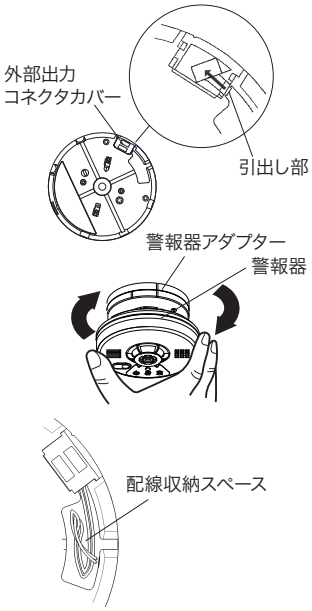
① 外部出力コネクタカバーを外し、本体裏面のリード線引出し部をラジオペンチなどを使用して、矢印の方向に折り曲げて切り取ってください。

② 火災連動信号入力コネクタを警報器本体のコネクタへしっかりと奥まで差し込んでください。

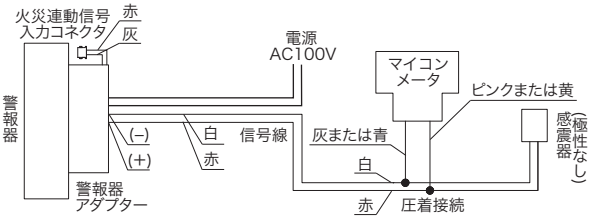
③ カバーはケースに確実に取付けてください。

④ 警報器本体を警報器アダプターに合わせ、止まる位置まで右に回し確実に固定します。

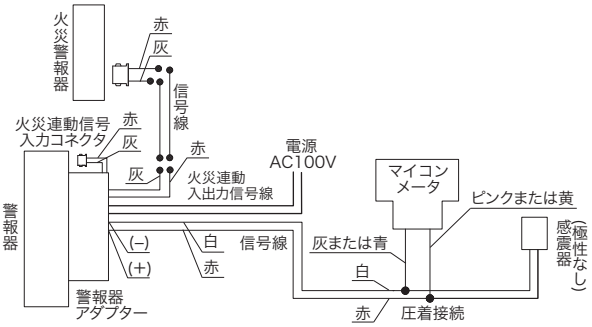
⑤ 余剰のリード線は配線収納スペースに入れてください。



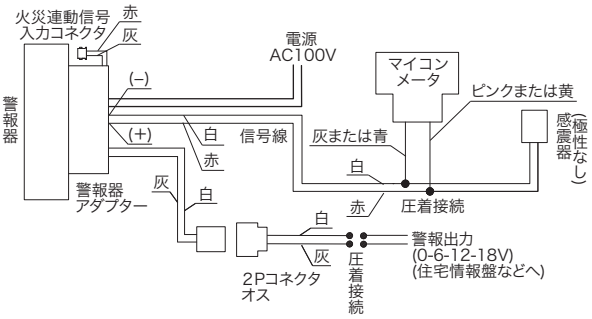
警報器とマイコンメータの場合



警報器、火災連動警報器とマイコンメータの場合



警報器とマイコンメータ、住宅情報盤などの場合



5 動作点検

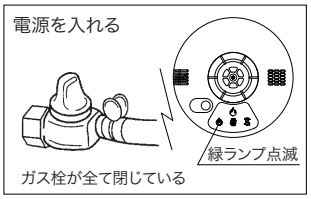
●配線接続後以下の手順で動作点検をしてください。

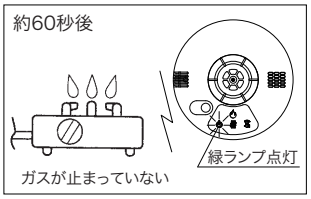
<YS-K801C-N型の場合>

1. 警報器を警報器アダプターに取付けてください。

① 警報器の電源ランプ(緑)が点滅します。(この時にガスコンロ以外のガス栓が全て"閉"となっていることを確認してください。)

② 約60秒後に警報器の電源ランプ(緑)が点滅から点灯に変わり、警報器が監視状態に入ります。(この時にマイコンメータが遮断していないことを器具で確認してください。)



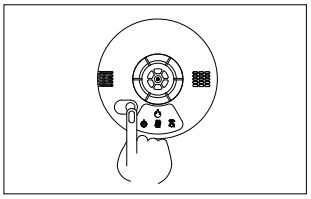


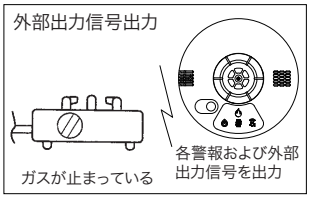
2. 警報器の音声確認スイッチを長押し(約3秒間)し、マイコンメータ遮断テストを行ってください。

① 警報器の音声確認スイッチを3秒以上押してください。その後「ピッピッ」と鳴りますので離してください。

② 警報器から外部出力信号(火災連動出力および都市ガス・COの有電圧出力)が出力され、マイコンメータを遮断します。

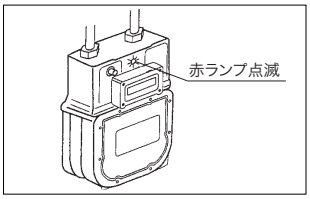
③ マイコンメータが遮断していることを器具で確認してください。



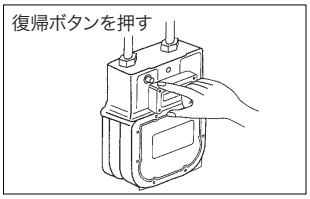


3. マイコンメータの復帰作業をしてください。

① マイコンメータの赤ランプが点滅していることを確認してください。

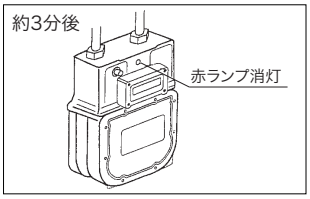


② マイコンメータの復帰ボタンのキャップを外して、復帰ボタンを奥までしっかり押して、すぐに手を離し(ボタンは元に戻り、赤ランプは再び点滅します。)キャップを元に戻してください。



③ 約3分間待ってください。(ガスの使用を約3分間お待ちください。この間にガスもれがないか確認しています。)

④ 約3分経過後に、マイコンメータの赤ランプの点滅が消え、平常状態になります。



R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています
2006.06
766831-4-680